

創意工

高付加価値部品のトップブランドを目指して

2025年のラストスパーク
全社で取り組む生産性向上



代表取締役
清水 克洋

第57期 激動のスタート

10月から第57期が始まり、約2か月経過しました。当初、半導体製造装置市場（WFE）の需要増を思い描いていましたが、予想と全く異なる急激な変化によって、想定外のスタートを切ることになりました。この想定外の状況下においては、先期の下半期を下回る受注量になることも考えています。

WFEの大きな変化の他に、高市内閣の発足による変化もあります。防衛力強化に向けた防衛費増額の前倒し方針が発表されました。当社においては、航空機事業での新たな引き合いを頂戴しており、防衛費の増額を追い風にした更なる需要拡大が今後も期待されます。

航空機事業はコロナ禍にMRJ撤退など大きな需要減少の影響もあり、中期経営計画の上では、石金ペンタゴンABCにおいて、売上の基盤となるBase（土台）の役割を持つ部門として位置付けていましたが、新たな需要の獲得に成功することで、これまでよりも厚みを持った土台としての役割を担える部門となれる可能性を感じています。この機会を逃さず、チャンスをつかみ、27年10月からの発展期へとつなげていきたいと考えています。

受注獲得のための取り組み

第3期中期経営計画では受注獲得が最優先で取り組むべき課題です。月2回、和田顧問・伊藤顧問にも同席を頂いて製販会議を開催していますが、その中で受注獲得に向けて行うべき取り組みとして、重点案件管理表の運用について取り決めを行いました。

重点案件管理表には、取引開始から1年以内の新規のお客様からの案件、特急料金を頂いて通常のリードタイムを短縮して製作する緊急品、客先都合による納期の前倒し案件、こちらからの納期回答に対しての再調整の依頼があった案件を登録し、通常品以上に厳重な納期管理していくことになりました。

重点案件管理表での管理の他、営業担当者からの製造統括部への情報発信等によって製販一体となつて納期遵守の徹底に取り組んでいます。依然として重点案件管理表内でも納期遵守率100%を達成できていません。各部門でのKPI設定や課題解決に向けた取り組みの結果として、会社全体の受注対応力の増強があります。

重点案件管理表の運用レベルの向上と同時に、一人ひとりが意識を高く持ち、今日やるべきことを確実に全うするためにどうするべきかを考えながら作業する等、納期遵守率向上に向けた行動を取ってください。

また、重点案件管理表以外の製品に関しても同様に、納期意識を持つ必要があります。工作機械や半導体については、フォーキャストを活用し、仕事量の平準化や適切な在庫量の確保によって全社の納期遵守率の向上を目指します。

生産性と品質の両立

納期遵守と同時に品質の維持も重要です。現在、工程内で発生するキズや打痕の不良率低減も重点課題としています。金尾本部長から、毎週朝礼時にキズ・打痕についての発生件数や内容を発表してもらっていますが、発生件数についても飛躍的な減少にはつながっていません。

キズ・打痕の発生もまた、一人ひとりの意識向上が重要です。加工前後に必ず確認を行うこと、全員が次工程のことを考えながら作業をすること等、小さな取り組みが大きな成果へとつながります。

キズ・打痕による不具合については、ほとんどのケースで加工者がその発生を認識しているはずですが、気付いた時に、これぐらいなら大丈夫だろう等、自己判断をするのではなく、必ず上司に相談をすることを徹底してください。

納期遵守率、ひいては生産性向上、品質の維持のいずれも、誰かがやってくれることではありません。皆さん一人ひとりが考え、行動しなければ実現できません。

2025年も残すところ、一カ月となりました。ラストスパークをかけて、頑張りましょう。





三浦課長



中野リーダー

Q：仕事で苦勞したこと

旋盤加工では相談する相手がいなかったため、苦勞しました。基本的なことは先輩方から教わりましたが一歩先のより高難易度の加工となると自分自身で開拓していかなければならず、苦勞した記憶があります。

初めて5軸マシニングセンターのプログラムを組んだ時のことです。設備のクセもありましたが当社で初めて導入した設備のため、トライアンドエラーを繰り返してより良い方法を試行錯誤する必要がありました。

Q：上司や先輩から学んだこと

師匠から「Noと言うな」という助言をいただき、自分の出来る範囲で挑戦することや精一杯の努力をすることを教りました。この教えは今でも仕事に対する姿勢として身につけています。

フライスやマシニングを担当している先輩方から、効率的な段取りの仕方や適切な治具の使い方、ワークの負担を減らす保持の仕方等、シミュレーションでは分からないノウハウを教えてもらいました。また過去のトラブルについて教わったことも役立っています。

Q：今後、挑戦したいこと

プログラムのマクロについて、知識を深めたいと思っています。現在、DMGのマシニングセンターの試作プログラムにマクロが導入されています。他の設備にも活かし、自働化や省力化を進めるためにも、マクロを学びたいと考えています。

多用する切削条件や工程の見直しを行い、加工時間の短縮に取り組んでいきたいです。また、難削材の切削加工についてのノウハウを蓄積していきたいと考えています。また、ミニ四駆大会ではデザインにこだわったカッコいいスポーツカーのようなボディを作りたいです。

ミニ四駆 G-1GP 2025 受賞報告

11月1日(土) T・Messe 2025 富山県ものづくり総合見本市にて開催されたミニ四駆G-1GPに出場しました。「チームIS」メンバーから菅原さんと石橋さんにお伺いしました。

出場した感想

(菅原さん)

ミニ四駆G-1GPは一昨年がわずか一点差での一回戦敗退、昨年も一回戦敗退と悔しい思いをしてきましたが、今年は試走会でも完走でき、本番ギリギリまで調整を重ねることでタイムも縮めることが出来ました。結果は総合で準優勝、デザインコンテストで最優秀賞でした。結果はもちろんですが、どんなものでも一人では作れないので、みんなで協力して作り上げる楽しさを味わうことができて良かったです。

(石橋さん)

今回、ミニ四駆チームに初参加しました。小さい頃からものづくりに興味があり、仕上げたマシンが走る姿や、本戦で競い合う姿を見ることができて嬉しかったです。時にはコースから外れそうになる危ない場面もありましたが、それも含めて貴重な経験となりました。

マシンのこだわり

(菅原さん)

今回のデザインはこれまでとは違い、白川課長のビートルをモチーフにしたデザインにしました。形だけでなく、ホイールには「IS」の文字、ナンバープレートも精密に再現する等、細部までこだわりました。見た目だけでなく、バランスを考えた両軸モーターを採用する等、ミニ四駆としての性能も発揮できるように工夫を凝らしています。

次回への意気込み

今回はデザインコンテストで最優秀賞を受賞できたので、今回は機能面を追求して総合での優勝を目指したいです。



隣の職場の工夫



製造1課 中川さん

古野さん

牧野さん

作業効率化やミスの予防、品質向上、コスト削減等のために課や個人で行っている取り組みをお伺いしました。

(三浦課長)

製造一課全体では、基本動作の遵守によるミス防止、図面の見落としを防ぐために加工箇所へのマーカーの書き込みと加工後の検査等を実施しています。その他にも、コスト削減のために最新のチップを試用する等、日々様々な試みを行っています。

(牧野さん)

加工に抜けがないよう、確認作業を徹底しています。図面を何度も見直し、丁寧に確認することでケアレスミスの予防にもつながります。

(古野さん)

朝の時間にその日使用する予定の測定器等を準備するようにしています。必要になった時に取りに行くのではなく、最初にまとめて用意しておくことでスムーズに作業ができます。

課内では全体スケジュールを活用して、今週の工程を共有しています。緊急対応品等によって、スケジュール通りにならないこともありませんが、目安として今週の目標があると日々の目標も明確になります。

(中川さん)

機械1台に付きつ切りになるのではなく、機械を動かしている間に次の工具を用意する等、効率よく段取りすることで時間を無駄にしないように心掛けています。



チームISメンバーで記念撮影



デザイン性と性能を両立するマシン



左:G-1 GP 2025 準優勝 表彰盾
右:ミニ四駆デザインコンテスト 最優秀賞 表彰盾



ホイールのデザイン等、ディテールにもこだわり

シゴトのこだわり



製造一課 成田さん

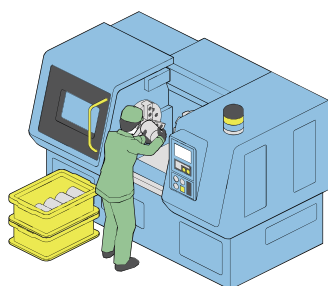
●後工程へとつながる仕事

製造一課でNC旋盤を担当しています。NC旋盤は初工程なので、次工程や更にその先の工程が仕事をしやすくなるような加工を心がけています。自分の担当以降にも様々な工程を経て、ようやく製品として完成します。自分がやりやすければ良いという考えではなく、後工程にとってもやりやすいように配慮することで、より良いモノづくりが出来ると思っています。

●コミュニケーションの工夫

正しく伝えるためにはどのようなコミュニケーションを取れば良いかを考えています。現在、製造一課はベトナムBKの支援に助けられています。仕事を依頼するときは、分かりやすく伝えることを心掛け、お互いがやりやすい方法を探しています。

言葉で伝えるのが難しいと感じた際は、翻訳に頼るのではなく、実際にお願いしたい作業をやってみせる等、伝え方を工夫しています。



次号のボタン

今回は同じく製造一課の古野さんをお願いしたいと思います。研磨と旋盤どちらも長く経験しているので、それぞれの難しさや違い等を聞きたいです。

石金ニュース！



親交会BBQ

10月26日(日) 立山グリーンパーク吉峰にて、社員の交流促進を目的として、BBQを開催しました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。また次回もたくさんの方のご参加をお待ちしてます。

